

実施主体、事業名などの概要

- ・事業名：「水の都西条」の未来につなぐ水資源高付加価値化と環境保全還元モデル構築プロジェクト
- ・実施主体：株式会社のどか荘暮らしの設計室・hinel
- ・対象地域：愛媛県西条市
- ・対象とする良好な環境：名水百選「うちぬき」

地域の現状・課題

西条市の地下水源の持続性

- 地下水位の低下、沿岸部の自噴の停止、塩水化の進行
- 水場の価値を理解している人が少ない
- 農家が使っている農業用水の水源の管理問題

目指すべき姿（中長期ビジョン）

持続的な地下水源の保全につながる関係人口を創出する

- 想定する関係人口のレイヤー
- 保全現場に直接的に関わる人
 - 放置林・水場・耕作放棄地を活用したコンテンツを生み出す人
 - 商品やサービスを購入する人などを増やしていく

実施項目（事業内での取組）

- 循環型観光に向けたコンテンツの磨き上げ、循環型観光モデルプランの実証および販路開拓
- 自走可能な体制と財源確保の検討
- 地下水源の保全につながる関係人口を創出する仕掛けの実施

**R7: 観光モデルプラン策定
および組織編成**

**R8: コンテンツ磨き上げ
および運営組織の地盤固め**

**R9: コンテンツ販売拡大
および関係人口拡大**

実施項目（自走化）

- 保全団体や地域事業者と連携したコンテンツ開発(資源・事業者をつなぐ、マーケティング・ブランディング・PR支援など)
- 循環型観光モデルプランの販売およびブランディング/PR
- 観光人口拡大と関係の深度化(就労や移住等)へつなげる仕掛けの実施

用語の定義
コンテンツ：体験、サービス、商品
プラン：コンテンツを組み合わせたもの(旅行業に該当しない行為)
循環型観光モデルプラン：保全につながる観光プラン(インバウンド向けを含む)

実施項目（事業内での取組）

- 循環型観光モデルの構築に向けた調査・分析・戦略立案
- プロジェクトチームの組成
- 観光モデルプランの企画策定
- 水資源に対する意識醸成とブランド強化

対象となる良好な環境の概要

西条市の地下水源

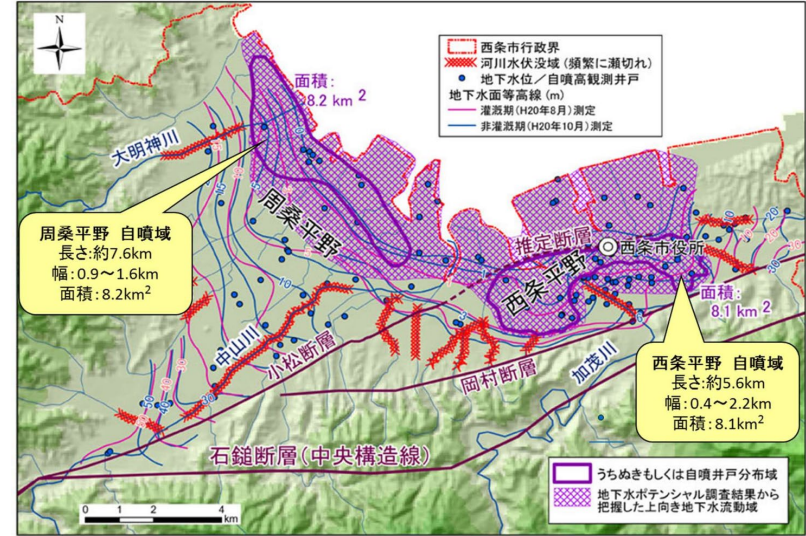
地理的・文化的特徴、価値：

「うちぬき」と呼ばれる石鎚山系の豊かな地下水は、市内に約3000本あると言われている自噴井を通じて古くから生活や農業、工業用に活用されてきました。西条市では市民の約半数が上水道を利用せず、日常的にうちぬき水に頼っています。昭和60年には環境省「名水百選」に選ばれ、2025年には市内のアクアトピア水系が「自然共生サイト」に認定されるなど、「水の都」の名で全国的に知られています。

保全の取組：

- ・塩水化の抑制に向けた水源の森の活用
- ・生活文化としての水場を維持するための活用
- ・農業用水の水源の適切な管理

道前平野の自噴帯の分布 | 出典：西条市地下水保全管理計画（西条市、H28年8月）



良好な環境に係るストーリー

学ぶ、楽しむ、味わう、西条の地下水源にまつわる体験観光

「水の都」西条を形成する「山」「街」「農地」を巡ることで、五感で体験する観光を提案。西条平野、周桑平野の2つの平野で構成される西条市全体には、地下水が大きく影響しているが、長年の観測から、その地下水源は必ずしも持続可能な状態が約束されている訳ではないことが明らかとなっている。西条市に限らず世界各地で起こる気候変動や産業構造の変化など、多くの地域が直面している環境課題に対して、豊かな地下水源を有する西条市だからこそ提供できる、課題への学びと水を楽しみ・味わうという、両側面からの体験を提供することで、より深く、次のアクションへとつながる観光を生み出します。

豊かな地下水源を守る現場で活動する人々、代々地域で受け継がれてきた「うちぬき」のある暮らしを営む人々、水源を守りながら農業を営む人々など地下水源と密接に関わる現場を巡り、実践者との対話をし、その豊かな地下水によって生み出される高付加価値なサービスの体験を提供する。

学び要素 | 間伐現場で森林整備と保全現場を体験、農業従事者が使う水源保全の現場体験、等

楽しみ、味わい要素 | 文化的価値のある水場を使った新しい水場体験、うちぬきで醸造するオリジナルクラフトビール作り等

MizuTabi

水を巡る旅プログラム

実施体制（図示）

WATER LOOP PROJECT 体制図

●WATER LOOP PROJECT 事務局

モデルプランの共同開発、循環型モデルの戦略立案、保全団体や地域事業者等の関係構築、調査・分析、情報発信、交流会や勉強会等の企画・運営等

実施事業者

連携事業者

のどか荘

hinel

A DESIGN &
STRATEGY

NEXT TODAY

代表機関

共同でプロジェクトに取り組む

●コンテンツ開発

本プロジェクトで組成した地域事業者の
観光モデルプランの共同開発チーム

さとライフ

宿泊体験施設運営

KIKUKO

滞在施設運営

GROUND TAP
BREWERY

ビール醸造

CREW
TAMBARA

農業・観光・物販

●環境保全還元モデル

本プロジェクトで協業する
環境保全活動に取り組む地域団体

西条自然学校

環境調査・森林保全

各地域の
自治会など

地域連携

●行政連携

西条市観光振興課
西条市環境政策課

●ツアー運営連携

西条市観光物産協会
ソラヤマいしづち

●地域内連携

西条まちづくり応援団
ダイテック
サイクス
連合自治会
青年会議所

●イベント連携

SDGs 協議会
うちぬき 21

●プロモーション連携

ハートネットワーク

●事業化連携

伊予銀行
東予信用金庫

【R7年度取組】

循環型観光モデルの構築に向けた調査・分析・戦略立案

地域事業者、保全団体、自治体の課題抽出を基に、持続可能な観光モデル素案を作成。多様なステークホルダーへの意識調査を行い計画の磨き上げを行う。

プロジェクトチームの組成

地域事業者向け交流会開催。水資源課題の浸透、地域事業の構築、観光資源の発掘と磨き上げ、事業者間連携、水資源の新たな体験など、さまざまなアプローチで地域基盤を築く

観光モデルプランの企画策定

地域事業者と事務局が共同でモデルプラン企画。関心領域や課題と保全を関係づけ、インバウンドに向けたテストツアーを実施し、実装にむけた検証、関係者調整を行う。

水資源に対する意識醸成とブランド強化

水資源の現状把握をし、価値向上に向けたSNSやブランドサイトでの発信、交流会や勉強会、一般向けイベントを行い意識醸成をはかる。

特に工夫した点・取組成果

- 保全現場・地域活動調査、活動参加、課題分析
- 地域資源発掘、事例調査
- 戦略素案作成、地域提案
- 地域住民・事業者の意識調査、分析
- 戦略の磨き上げ、次年度計画

特に工夫した点・取組成果

- 地域事業者向け交流会企画・運営(4回開催)
- 関係者連携強化(市、観光・産業振興・市民団体含む)
- 地域事業者の連携方法検討
- 組織継続方法の検討

特に工夫した点・取組成果

- 事業者選定、企画会議実施
- 課題共有、コンテンツ持ち寄り、ターゲット設定等検討
- インバウンド向けテストツアーの実施、検証
- モデルプラン案の策定

特に工夫した点・取組成果

- ブランディングデザイン
 - SNSの開設・運営、地域住民・事業者のインタビューコンテンツ作成
 - ブランドサイトの設計・開発
 - 一般向けイベントの開催
- https://www.instagram.com/water_loop_project/

R7年度のゴール

- 多様なステークホルダーとの対話から、課題や資源を調査し、仮説検証・戦略立案を実施。
- 市内にある複数の保全対象と地域資源をつなぎ、地域事業者が提供できる観光コンテンツを生み出す
- テストツアーを実施し、次年度のモデルプラン策定につなげる
- SNSを活用し、情報発信を行い、関係構築や意識醸成につなげる
- プロジェクトに関わる人が楽しく、未来につながる魅力あるプロジェクトと認識し、参画や協力、支援したいと思ってもらう

取組内容詳細：循環型観光モデルの構築に向けた調査・分析・戦略立案

□ 保全現場・地域活動調査、活動参加、課題分析

西条市内の保全現場、地域活動の調査を行った結果、特性ごとに課題や取組主体が異なることから、街・山・丹原・東予の4つの保全対象に対して、3つの課題アプローチ策を取っていくこととした。それぞれの課題ごとに地域事業者と連携し、保全につながる観光コンテンツ造成を目指すこととした。

□ 地域資源発掘、事例調査

地域資源の発掘、他地域の取組事例などの調査分析を行い、連携する地域事業者と共有することで目線合わせを行った。

□ 戦略素案作成、地域提案

「課題と事業者の関係マップ」[別添]「戦略_企画書」などを作成。

□ 地域住民・事業者の意識調査、分析

地域における保全の定義が幅広く、取組による関心度の上昇を成果とすることから、さまざまな課題があることの認知を高め、今後のアプローチの参考とすることに重きをおいた地域住民意識調査とした。

KPI 保全への関心度 10%アップ(計画時)→西条で起こっている水資源に関する課題の認知調査に変更。「4.調査・分析レポート-地域住民の意識調査01,02」

KPI 事業者の利活用のポテンシャル意識 10%アップ、ステークホルダー間の連携機会 50%アップ→参加事業者の約6割が「水資源を活かした新しい商品・サービス・ツアーなどを生み出せる可能性がある」と回答。約7割が「この半年で、水資源の保全・活用をテーマに他の組織や人と話し合ったり、企画する機会が増えた」と回答。 [別添]「アンケート分析レポート」

□ 戦略の磨き上げ、次年度計画

[別添]「事業者の利益・期待値マップ」を作成。次年度計画を連携事業者とともに協議。 [別添]「R8プラン素案」

課題

- 保全の定義が難しい
- 保全の還元が明確化しない（使うことが保全なのか、お金を誰に渡すかが難しい）

取組内容詳細：循環型観光モデルの構築に向けた調査・分析・戦略立案

1. 保全現場調査

【街】水場の現地調査



地域に点在する水場の現状調査。利用状況や清掃する地域住民の状況など、うちぬきの持続性や価値意識などの検証点を抽出。

【山】植林された木々の伐採(西条自然学校)



放置人工林が増えることで土壌の流出や保水力の低下に対応するため、間伐を行っている。間伐の人手不足や流通などの課題を紹介。

【里】農地の水源を清掃する地域団体



丹原地区内にある農地へ水を供給する水源清掃に参加。農家減少により若手が不足しており、水源管理の持続性が課題となっている。

2. 地域資源・コンテンツ調査

【街】水めぐりツアー(西条市観光物産協会)



ガイドによるうちぬきスポットをめぐるツアープログラム。市街地に点在するうちぬきをめぐりながら、温度や味の違いを体感し、歴史も学べるツアー。500円/人、2時間。

【山】「東之川探訪ツアー」(西条市観光物産協会・西条自然学校)



廃村となった「東之川集落」跡を探索するツアー。植林された木々の管理、石積の山道整備、かつて暮らしていた住民からの話を紹介。保存や活用にむけたツアープログラムを実施している。

【里】丹原地区の畑と水源をめぐる



丹原地区で果樹農園を営む農家にガイド役を依頼し、農地と水の関係を地域をめぐるながら解説。農地が開かれた歴史や農家の減少により水路管理の担い手が不足していること、地域産品の特性などを紹介。

取組内容詳細：循環型観光モデルの構築に向けた調査・分析・戦略立案

3.調査・分析レポート-地域資源リスト

WATER LOOP PROJECT

あなたの見つけた水資源をこちらのフォームから投稿してください

スポット名	カテゴリ	エリア	出典マップ	コメント
芝井の泉	うちぬき(取用)	氷見エリア	西条水めぐりマップ	隣の酒蔵がお酒仕込む、「長寿水」と呼ばれている
喜母神社	うちぬき(取用)	横瀬エリア	西条水めぐりマップ	平成8年全国利き水大会で日本一
加茂川左岸うちぬき公園	うちぬき(取用)	石籠山駅周辺	西条水めぐりマップ	水くみ場所
弘法水	うちぬき(取用)	旧西条市	西条水めぐりマップ	
野菜洗い場	うちぬき(取用)	旧西条市	西条水めぐりマップ	農家が出荷前に野菜を洗う場所
うちぬき広場	うちぬき(取用)	旧西条市	西条水めぐりマップ	平成7年全国利き水大会で日本一
観音水	うちぬき(取用)	旧西条市	西条水めぐりマップ	新町川を流れる水はここを源としています
うちぬき水の利き水	うちぬき(取用)	旧西条市	西条水めぐりマップ	水くみ場
さかえの泉	うちぬき(取用)	旧西条市	サイクリングまっぶ	住吉神社に所在
水都市の前	うちぬき(取用)	旧西条市	未来につなぐさいじよ*	*市の管理、定期的な水質検査の実施
市民公園	うちぬき(取用)	旧西条市	未来につなぐさいじよ*	
西条郵便局北	うちぬき(取用)	旧西条市	未来につなぐさいじよ*	
水汲み場	うちぬき(取用)	旧西条市	未来につなぐさいじよ*	
観光交流センター内	うちぬき(取用)	旧西条市	未来につなぐさいじよ*	
総合文化会館横	うちぬき(取用)	旧西条市	未来につなぐさいじよ*	
加茂川干渉	その他	横瀬エリア	サイクリングまっぶ	日本野鳥の会から重要野鳥生息地の指定を受けた
石籠橋	その他	丹原エリア	西条市・愛媛大学	
石籠田園通り	その他	石籠山駅周辺	西条市・愛媛大学	
モニュメントうちぬき水の利き水	その他	旧西条市	西条水めぐりマップ	石籠山モチーフ
御船川緑道公園	その他	旧西条市	サイクリングまっぶ	運がよければ船も見れる 樹水壺というモニュメントあり
とめき水都市	その他	旧西条市	たび西条	J A 直営産直市
B'SHOP OCHI	その他	旧西条市	ジャバエコトラック	E-BIKEレンタル ツアー企画
WINDS BIKES	その他	旧西条市	ジャバエコトラック	トレックバイク専門店
今治造船800t 吊りクレーン	その他	旧西条市	西条市・愛媛大学	
ひろち大橋	その他	旧西条市	西条市・愛媛大学	
丹原もぎたて倶楽部	観光施設	丹原エリア	西条市・愛媛大学	あまか園・愚売山・SakiEngei・四季彩農園・高山農園・はつきり農園・マヤマク
オアシスマーケット	観光施設	石籠山系	たび西条	石籠山SAモンベルアウトドアオアシス石籠に隣接する産直市場
橋交流館	観光施設	小松エリア	たび西条	モンベルアウトドアオアシスと併設
鉄道歴史パーク in SAJU	観光施設	旧西条市	西条水めぐりマップ	うちぬきの試飲、お土産販売
西条市観光交流センター	観光施設	旧西条市	西条水めぐりマップ	
愛媛民藝館	観光施設	旧西条市	たび西条	四国唯一の民藝館
西条郷土博物館	観光施設	旧西条市	たび西条	
五百鳥記念館(おき)	観光施設	旧西条市	たび西条	西条市出身の彫刻家
西条栄光教会	観光施設	旧西条市	たび西条	民藝館と同じ建築家
いとまちマルシェ	観光施設	旧西条市	たび西条	地域で活躍する生産者やお店の新鮮・安心・安全をセレクト
こどもの国	観光施設	旧西条市	西条市・愛媛大学	だんじり、西条祭りの貴重な品々が展示
湯之谷温泉	観光施設	その他	たび西条	
周ちゃん広場	観光施設	その他	たび西条	四国最大級の産直市
フォレストアドベンチャー・西条	観光施設	その他	たび西条	四国最大級の森林アドベンチャーパーク
寒茅郷土館	観光施設	その他	ジャバエコトラック	生きたカブトガニに会える 手すき和紙体験
石籠山	山	石籠山系	西条水めぐりマップ	標高1962m日本最高峰
石籠山登山ツアー	山	石籠山系	石籠山登山ツアー	西条市サステナブルツアー
永納山	山	その他	たび西条	1300年前の古代山城跡が残る山
石岡神社	寺社仏閣	氷見エリア	西条市・愛媛大学	氷見地区だんじり発祥の神社
吉祥寺	寺社仏閣	氷見エリア	西条市・愛媛大学	
龍神寺	寺社仏閣	横瀬エリア	西条水めぐりマップ	
西山興隆寺	寺社仏閣	丹原エリア	たび西条	愛媛県唯一の紅葉の名所
金山寺	寺社仏閣	丹原エリア	たばらMAP	丹原町稲穂
久妙寺	寺社仏閣	丹原エリア	たばらMAP	丹原町久妙寺
観音寺の院	寺社仏閣	石籠山系	たび西条	鳥居から石籠山が見える。弘法大師空海も修行した場といわれる
保徳寺	寺社仏閣	石籠山系	たび西条	鳥の名跡にも指定された
伊曾乃神社	寺社仏閣	石籠山系	西条市・愛媛大学	祭りの始まる場所

前神寺(まえがみ)	寺社仏閣	石籠山系	西条市・愛媛大学	
宝寿寺	寺社仏閣	小松エリア	西条市・愛媛大学	
三島神社	寺社仏閣	小松エリア	西条市・愛媛大学	
香園寺	寺社仏閣	小松エリア	西条市・愛媛大学	
柳神寺	寺社仏閣	小松エリア	西条市・愛媛大学	
吉祥寺	寺社仏閣	小松エリア	西条市・愛媛大学	
佛心寺	寺社仏閣	小松エリア	西条市・愛媛大学	
石土神社	寺社仏閣	小松エリア	西条市・愛媛大学	
大達寺	寺社仏閣	旧西条市	西条水めぐりマップ	西条水都の障壁を削ぎ取った山門
光明寺	寺社仏閣	旧西条市	サイクリングまっぶ	
光明寺	寺社仏閣	旧西条市	たび西条	安藤忠雄が手掛けた寺院 水都を象徴するような建築
飯塚神社	寺社仏閣	旧西条市	西条市・愛媛大学	西条祭りの最後の祭礼
王至森寺(おしもり)	寺社仏閣	旧西条市	西条市・愛媛大学	樹齢数千年といわれるキンモクセイは祭り知らせの香りと地域の人々に愛
世田山南無寺(せんだん)	寺社仏閣	その他	西条市・愛媛大学	愛媛の自然10選
織乃神社	寺社仏閣	その他	西条市・愛媛大学	西条市無形民俗文化財に指定
木船神社	寺社仏閣	その他	西条市・愛媛大学	
羅森神社(さざもり)	寺社仏閣	その他	西条市・愛媛大学	
本蓮寺	寺社仏閣	その他	西条市・愛媛大学	
石籠酒造	酒蔵・酒屋	氷見エリア	西条市・愛媛大学	石籠山の湧水を使用「石籠」
羅元屋本店	酒蔵・酒屋	氷見エリア	西条市・愛媛大学	「羅元屋市兵衛」「行光」 芝井の泉水系
百藤酒造	酒蔵・酒屋	小松エリア	西条市・愛媛大学	石籠山の水を使用「寿心丸」
成龍酒造	酒蔵・酒屋	その他	たび西条	龍元 伊予賢屋、御代宗・成龍然
武田酒造	酒蔵・酒屋	その他	西条市・愛媛大学	「日本心」(やまとこころ)
国民舎石籠	宿泊施設	石籠山系	ジャバエコトラック	石籠スカイライン終点の土小屋に立地する宿泊施設
常住屋白旅館	宿泊施設	石籠山系	ジャバエコトラック	石籠神社成徳社の境内に位置 昼食利用可
日の出旅館	宿泊施設	石籠山系	ジャバエコトラック	山菜料理が自慢
京屋旅館別荘 教養庵	宿泊施設	石籠山系	ジャバエコトラック	嵐風天付贈れ 手打ちそば
本谷温泉	宿泊施設	その他	たび西条	フォレストアドベンチャー・西条に隣接
休暇村瀬戸内東予	宿泊施設	その他	西条市・愛媛大学	石籠津峰がみられる
千町(せんじょう)の棚田	生活工夫	石籠山系	棚田に窓	
指橋	生活工夫	旧西条市	西条水めぐりマップ	水をまっすぐ流したり、凍き止めて濁す淵をえたり、機織りも使い方をし
藤橋	生活工夫	旧西条市	サイクリングまっぶ	海水の逆流を防ぐ治水施設
天川の棚田	生活工夫	その他	棚田に窓	西条市河之内
遠前深温泉	川	丹原エリア	西条市・愛媛大学	
新町川	川	旧西条市	西条水めぐりマップ	
アークトピア水系	川	旧西条市	西条水めぐりマップ	2.6キロのルート
高瀬川	川	旧西条市	サイクリングまっぶ	
南直原	土木遺産	横瀬エリア	西条水めぐりマップ	
石籠クライミングパークSAJU	遊び場	氷見エリア	ジャバエコトラック	3種の縦岩技術設備を備えた国内有数の競技場
トリム公園	遊び場	石籠山系	未来につなぐさいじよ*	夏は水遊びスポット
石籠ふれあいの里	遊び場	石籠山系	たび西条	石籠山の宿泊施設・自然体験スポット
トレッキング UFOライン	遊び場	石籠山系	やりたい事は今やっ*	お手紙縦走登山
石籠登山ロープウェイ	遊び場	石籠山系	ジャバエコトラック	冬はスキー場
武丈公園	遊び場	石籠山駅周辺	サイクリングまっぶ	約1500年の板並木が加茂川沿いにアーチを作る
水舞台	遊び場	旧西条市	西条水めぐりマップ	子どもが戯れる場所
水の都西条水めぐりサイクリング	遊び場	旧西条市	やりたい事は今やっ*	
新兵衛常夜灯	歴史・遺跡	横瀬エリア	サイクリングまっぶ	黄金水の湧き出した場所の記念碑
土居橋跡(どいかまえ)	歴史・遺跡	石籠山駅周辺	サイクリングまっぶ	高鮮城の平時の館跡 県指定文化財
真領(まなきょうじ)前の水路	歴史・遺跡	石籠山駅周辺	サイクリングまっぶ	境内にうちぬきまじょうすいがある
旧西条藩陣屋跡御座大門	歴史・遺跡	旧西条市	西条水めぐりマップ	松平家ゆかりの城下町西条のシンボル
妙昌寺	歴史・遺跡	旧西条市	西条水めぐりマップ	松平家の菩提寺
五輪塔	歴史・遺跡	旧西条市	西条水めぐりマップ	任理和尚を祀った遺跡
祇祥寺(せいしょうじ)	歴史・遺跡	旧西条市	西条水めぐりマップ	林瑞和尚ゆかりの寺、露の見所(4月下旬~5月上旬)
西条春雷伊予征伐陣の地	歴史・遺跡	旧西条市	西条水めぐりマップ	江戸時代、良質な伏流水を利用して、手漕ぎ和紙づくりが盛んだった。西条春雷
新堀石籠常夜灯	歴史・遺跡	旧西条市	サイクリングまっぶ	1846年に建てられた 石籠参道の土除道として使われた
黄金水碑	歴史・遺跡	旧西条市	サイクリングまっぶ	

戦略立案書



WaterLoopProjectとは？



WATER
LOOP
PROJECT

VISION

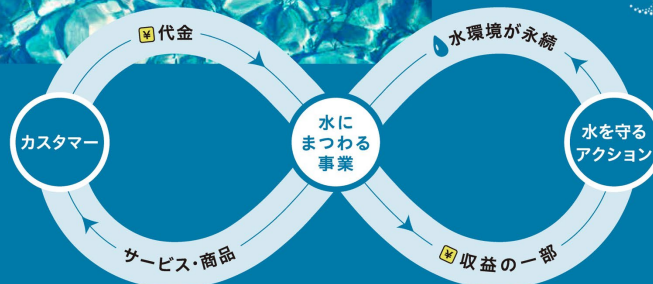
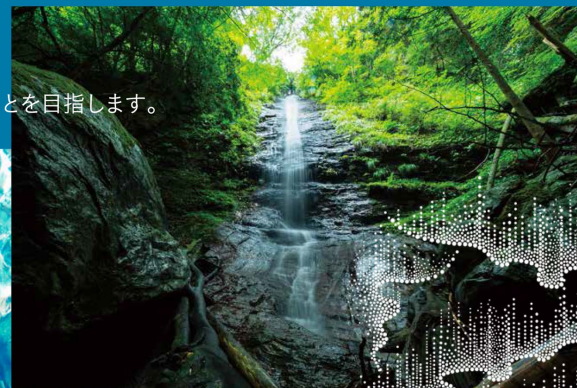
水のある暮らしを100年先へ。

MISSION

水を価値に、価値を水へ。

WATER LOOP PROJECTとは？

持続可能な水の街を実現させるプロジェクトです。
街の魅力を集合知で商品化し、
そこで得た気づきや収益の一部を
水を守る新しい動きに再投資することを目指します。



取組内容詳細：循環型観光モデルの構築に向けた調査・分析・戦略立案

戦略立案書



課題と事業者の関係マップ

共通課題	対象	地域別課題	課題へのアプローチ	観光モデルプラン	参画事業者
西条市の 地下水源の 持続性	山 街 西条 平野 <small>(旧西条市街地と沿岸部)</small>	課題① 地下水位の低下 ↓ 沿岸部の自噴の停止 塩水化の進行	放置林を使う 解決後 林業従事者の人数が増え適切な密度で 森を管理し続けることが可能になる	●間伐現場体験 ●東の川散策	西条自然学校 石鎚山系の保全活動 研究・啓蒙 石鎚ふれあいの里 自然体験宿泊施設 GROUND TAP BREWERY うちぬきを活用した クラフトビール KIKUKO 地域と外をつなぐ コミュニティスペース CREW TAMBARA 丹原地区の地域活性に 取り組む事業者共同体
		課題② 水場の価値を 理解している人が 少ない	水場を使う 解決後 市民の水場をはじめとした原風景や 水資源の価値を再認識する	●水場で西条の水で 育った野菜を食べる ●自分で汲んだ水を ビールにする	
	丹原 東予 周桑 平野 <small>(丹原町・東予市)</small>	課題③ 農家が使っている 農業用水の水源の 管理問題	耕作放棄地を使う 解決後 農業従事者の人数が増え 水源地の保全の自治が可能になる	●水源の保全現場を 体験する	



WLP事務局

戦略立案書



WLPの中長期ビジョン

持続的な湧水保全につながる関係人口を創出する

定義

持続可能な保全

=継続的に関わってくれる人が多い状態

やる

保全現場に直接的に関わる

生む

放置林・水場・耕作放棄地を活用した商品やサービスを生み出す

買う

その商品やサービスを購入する

関係の深度

01 観光を通して保全現場や水にまつわる体験をする

→課題を知る・楽しさを知る・価値を知る



02 地域と定期的な関わりをもつ

→年数回、地域を訪れる・オンラインでも交流がある



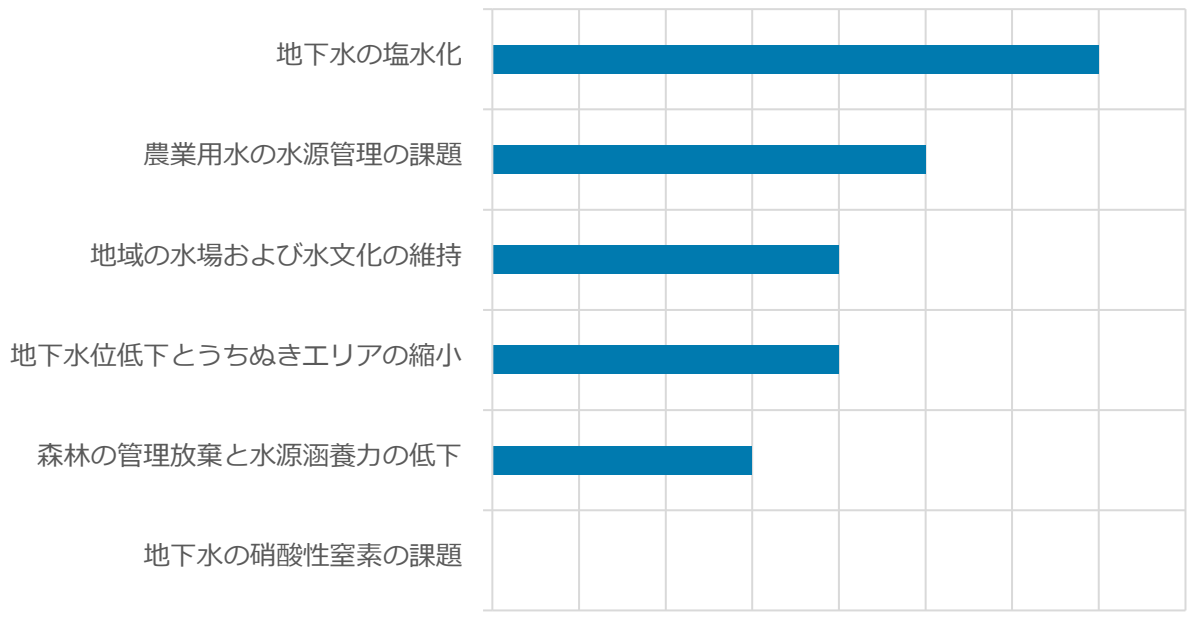
03 継続的に地域と関わる

→関わり方は人それぞれ、直接保全現場に関わる人もいれば、商品を購入することで長期的に応援してくれる人もいる、大事なことは継続的に関わってくれること

03を念頭に01をやりきる！

4.調査・分析レポート -地域住民の意識調査01

今、西条市で起こっていることどれくらい知っていますか？



【調査方法】

2025年11月16日 西条市にて開催された「LOVESAIJOアクアフェスタ」において、一般のイベント来場者に向けて課題ボードを掲出し、課題として認識しているものにシールを貼る形式で調査を実施。総回答数23。

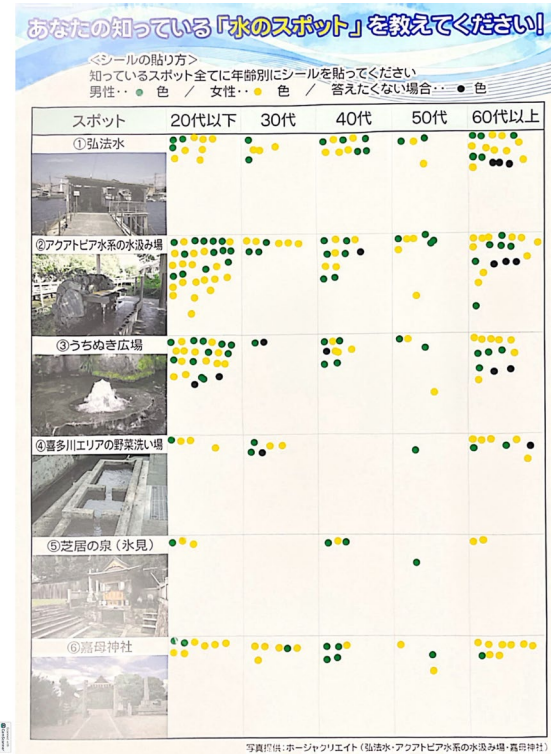
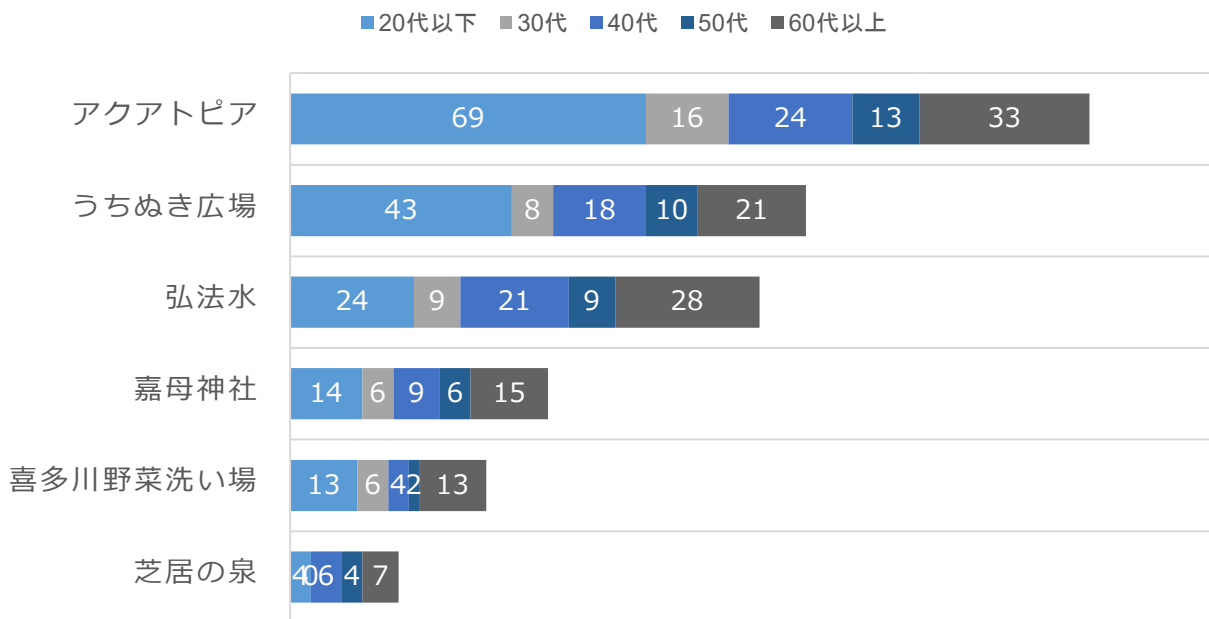
【結果分析】

「地下水の塩水化」の課題認知度が最も高い結果となった。現状、塩水化の影響範囲は一部地域に限られているものの、認知が高いことから関心の高さがうかがえる。「農業用水の水源管理の課題」が高い結果となった一方で、「地下水の硝酸性窒素の課題」については知られておらず、農地の持続性に関する課題でも差があることが分かった。特に森林と涵養力の認知が低いことから、市民との認知ギャップに気づき、より発信を強化する必要があると感じた。今回の調査では、十分な調査数を得られなかったことから、今後は調査方法を改めていく必要があると考えている。

取組内容詳細：循環型観光モデルの構築に向けた調査・分析・戦略立案

4.調査・分析レポート -地域住民の意識調査02

あなたの知っている「水のスポット」を教えてください！



【調査方法】

2025年11月16日 西条市にて開催された「LOVESAIJOアクアフェスタ」において、一般のイベント来場者に向けて、事前調査で抽出した「水のスポット」6か所のうち、知っているスポットに年齢と性別ごとにシールを貼る形式で調査。総回答数455。

【結果分析】

イベント開催地である「アクアトピア」が最も認知が高い結果となった。次いで、「うちぬき広場」「弘法水」「嘉母神社」と中心市街地に近い観光スポットとなっている場所の認知度が高い傾向が見られた。一方で、生活利用が中心となる「喜多川野菜洗い場」も各世代で認知があり、歴史的価値の高い「芝居の泉」は中心市街地から遠いこともあり、認知が低い結果となった。年齢別にみると、「アクアトピア」は特に若い世代の認知が高いことが伺えた。文化的価値の認識が低い仮説通りの結果となり、そこを組み込んだブランド醸成が必要であると考えます。

取組内容詳細：循環型観光モデルの構築に向けた調査・分析・戦略立案

R7年度 実施内容

WATER LOOP PROJECT
事務局

地域事業者 4 組のチーム

地域連携

西条市
サイクス
SDGs協議会
ほか



企画会議

地域事業者と協業して観光プラン造成を行う企画会議を定期開催。テストツアー実施。

交流会

地域事業者や行政、住民など多様なステークホルダー間の課題共有、連携基盤を築く機会を 4 回開催。

地域事業者・保全活動 ・コンテンツ調査

地下水保全に関連性の高い事業者や保全活動に携わる方への調査。既存の観光コンテンツ調査。

R8年度 目指す体制



(仮)地域課題解決型
循環ビジネスプラットフォーム



R7年度に関係構築した
多様なステークホルダー
をプロジェクトに
巻き込む
プラットフォームを構築

幅のある関わり代を
設計し、多様な関係
人口創出につなげる

コアメンバー

組織運営事業、
観光事業、サウナ事業など
主体的に事業実施する

コラボ

コアメンバーと連携し、
保全につながる事業や
事業収益を保全へ還元

サポーター

ビジョンに共感し
多様な形でサポート

取組内容詳細：循環型観光モデルの構築に向けた調査・分析・戦略立案

□ 地域事業者向け交流会企画・運営(4回実施)

持続可能なプロジェクトとするため、地域事業者が参画できるプラットフォームを試行する交流会を企画。

地域資源を体験するプログラムと全国で地域づくりに取り組む活動者のレクチャーの2部構成とし多様な事業者の巻き込みを狙った。

KPI 交流会参加事業者数30社 →66名参加

KPI 交流会参加事業種別数8種類 →参加者業種21種以上。個人事業主が最も多い結果となった。

□ 関係者連携強化(市、観光・産業振興・市民団体含む)

西条市環境政策課：事務局メンバーや地域事業者向けに「西条市の地下水の概要と西条市が行っている地下水保全対策について」の出前講座を実施。

西条市観光振興課：地域資源発掘やツアー造成における情報提供、アドバイスなどで連携。

サイクス：地域事業者へのプロジェクト説明、巻き込み、プログラム参加などで連携。

□ 地域事業者の連携方法検討

関係人口創出に向けて、プロジェクトのコアメンバーやコラボ事業者など多様な関わり方を構想している。

KPI 発案されたアイデア(事業の種)10個 → 10個 [別添]「事業者の利益・期待値マップ」

□ 組織継続方法の検討

プロジェクト事務局の自主事業、連携事業者からのインセンティブなどを検討。

KPI 参加する事業者数 10 社→ 16社(うち保全団体は1社) [別添]「プロジェクト参加事業者リスト」

課題

- 多様な関わり方レイヤーの設計が必要、分かりやすい言葉で保全や持続可能などのワードやプロジェクト目指すところなどを説明していく必要がある

取組内容詳細：プロジェクトチームの組成

2.交流会 開催概要

交流会	日時	プログラム	場所	参加人数
第1回 ビビビビアガーデン	2025年8月19日	青木純氏ゲストトーク、ビアガーデン	愛媛民藝館	24人
第2回 ババババーベキュー	2025年9月11日	折原直廣氏ゲストトーク、バーベキュー	石鎚ふれあいの里	17人+a
第3回 いいいもたき	2025年10月8日	内藤真也氏ゲストトーク、いもたき	加茂川河川敷 (パーラー〇〇に変更)	16人
第4回 サウナドバドバ	2025年11月16日	山川智嗣氏ゲストトーク、サウナ体験	西条市 総合福祉センター	34人

■交流会の狙い

地域内でのプレーヤー間交流、課題の共通認識化、地域課題に取り組む事業を起こす機運醸成、資源の掘り起こし

■期待する成果

事業の種、保全につながる新規事業の連続的創出、組織運営、地域資源のポテンシャル発掘

■交流会の実施体制

企画・運営：WATER LOOP PROJECT事務局

サポート：サイクス、地域事業者、飲食店など

未来をちょっとだけ楽しみにできる夜。

名水がドバドバ湧き出す西条でおなかも心も満たす3時間。
飲む人も、飲まない人も。語りたい人も、耳を澄ませたい人も
気ままな雑談がゆるやかに混ざり合い、
帰り道に残るのは「楽しかった!」という余韻と、きっと何か始まるというワクワク。
未来をちょっとだけ楽しみにできる夜へ。DOBADOBA交流会でお待ちしています。

場所	会議・イベント会場・駐車スペース・作業場・空き家・農地など	「この場所、自由に使っていいよ」
資金	スポンサー協賛/少額支援/クラファンなど	「少額でも種銭を出して応援」
モノ	設備・車・DIY工具・その他持ち寄れるものなど	「機材あるから貸すよ」
スキル	職能に関係したスキル・得意なこと	「手を動かすよ」
コンテンツ	地元の水にまつわる逸話・事業と水にまつわる話・生活の中の水の話など	「ストーリーの素材あるよ」
ネットワーク	人材紹介・メディア紹介など	「人や会社を紹介するよ」
データ	観光客動態統計・他地域の事例など	「データ調べたよ」
時間	運営ボランティアなど	「時間あるよ・手伝えるよ」
アイデア	観光コンテンツアイデア・DOBADOBAの運営効率化のアイデアなど	「思いっただけどうかな?」
ファン拡散	SNS投稿・レビュー投稿・口コミ紹介など	「拡散するよ」

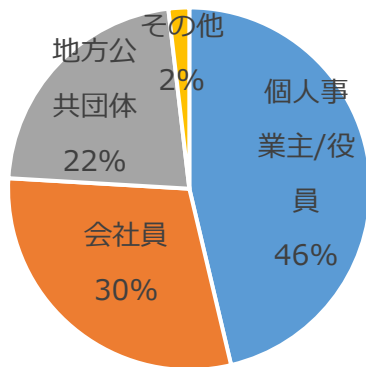
取組内容詳細：プロジェクトチームの組成

3.交流会参加者分析

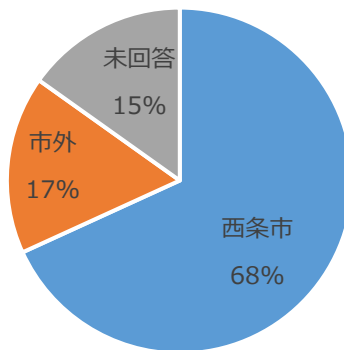
【交流会参加者分析結果】第1回～第4回までの集計

- ・参加人数(ユニークユーザー) 66名
 - ・居住地域は68%が西条市内からの参加となった
 - ・参加事業者の業種 飲食・物販業、建設・不動産業、農業、宿泊業、コンサルティング業、林業、製造業、その他（まちづくり団体、住職、ヨガインストラクター、写真家、医療、石工事業、新聞社、ビール醸造、菓子製造、米穀取扱業者、着物レンタル業、食育、議会職員、公務員ほか）
→ 個人事業主、会社員、地方公共団体など多様なステークホルダーが参加した。特に事業化に向けてアクションを起こしやすい個人事業主や役員が最も多い割合となったことは今後の展開に有効と考える。金融系の参加者を集めることができなかったため、次年度以降は積極的に呼びかけていきたい。
 - ・53%の人が参加回数1回となった。
- リピーターにつながる、関わりのバリエーションを提案していきたい

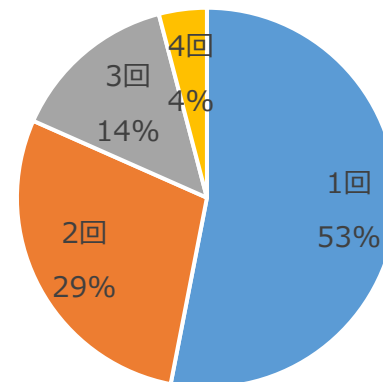
参加者属性



参加者の居住地域



参加回数



取組内容詳細：観光モデルプランの企画策定

□ 事業者選定、企画会議実施

西条市内では観光需要が少ないため、観光以外での事業基盤をもつ複数の事業者と連携し、多様なアプローチでプラン作成を行う。地域資源を活かした事業を行う4事業者を選定。地域の課題把握、資源や他地域事例の共有などの企画会議を重ね、ツアーのコンテンツとなるプログラム構築を実施している。

□ 課題共有、コンテンツ持ち寄り、ターゲット設定等検討

インバウンド受入に向けて、地域の実情を踏まえステップを検討し、段階的にインバウンド向けツアーを造成していく。
リピートグループ客向け研修ツアー造成 → 個人向けツアー造成 → インバウンド向けツアー造成

□ (インバウンド向け)テストツアーの実施、検証

地域事業者との協働で発案されたコンテンツを実現性を検証するための3つの試行実施を行う。

1. 一般向けイベント サウナ体験：うちぬきを使った新規事業の需要検証。
2. プチテストツアー：森林間伐からサウナ体験までの保全と使うを組み合わせたコンテンツの実現可能性検証。
3. テストツアー：街・山・里のエリア横断した保全体験を組み込んだ1泊2日のツアー実現可能性検証。

□ モデルプラン案の策定

KPI モデルプランの数 5本→モデルコンテンツの数 6本 コンテンツをテストツアーにて実証。

用語の定義を整理したためプラン→コンテンツに変更。

課題

- ツアー以外の各社の参画メリット、事業化までのフロー、モチベーション設定
- インバウンドターゲットに向けて、観光専任事業者がない、団体客受け入れが困難、専属スタッフを置けない

取組内容詳細：観光モデルプランの企画策定

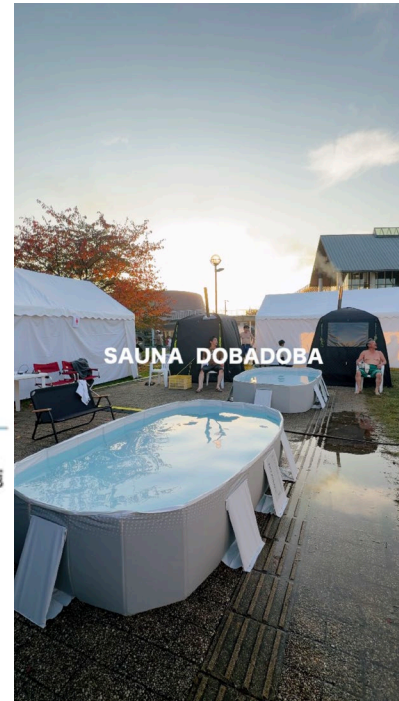
1.一般向けイベント【サウナ体験会】 11月16日(日)実施

実施内容

- 1.サウナ体験会
- 2.アンケートを実施：目標獲得数50件 ※サウナ体験会場で実施
- 3.水場の認知度の調査パネルを展示：目標獲得数500件
※5箇所：こうぼうすい、アクアトピア水系、うちぬき広場、下富多川、氷見の野菜洗い場
- 4.エリア毎の課題認識の調査パネルを展示：目標獲得数500件
- 5.リーフレット配布：目標配布数1,000部 ※プロジェクトの認知を広げる

一般向けイベントの狙い

- ・コンテンツ案の「水の街のサステナブルサウナ」のテストマーケティングとしてサウナ体験会を実施
※間伐材を使った薪材・クロモジを蒸留したアロマ水・自然資源のうちぬき、それぞれの効果とユーザーの声を集める
- ・「地域の水場を認知している人が少ない」「地下水源の問題を理解している人がすくない」
二つの課題の仮説を検証
- ・地域イベントと合同開催することでオフラインでのプロジェクトの認知獲得



【イベントアンケート内容報告（抜粋）】

イベントを通しての意識変化

うちぬきが年々減ってきていることを知りませんでした。そして、木々の伐採は良くないと思っていたけど、過密になっている方が森にもうちぬきにも良くないことを知れて勉強になりました／人工林が地下水の邪魔になってるとは思いもよらなかった。自然のバランスを保つ事がとても大切だと思う。／西条の水が飲み水としてだけでなく、水風呂にもとても向いていることを肌で感じた。あまり水風呂の違いがわからない僕でも分かるほどに。

PJへの共感ポイント

「循環」させることによって豊かな自然、暮らしやすいまちづくりを守る、継続する、とても素晴らしい取り組みだと感じました。次の世代にもきれいなうちぬきを残してあげたいし、土砂崩れの起きない強い森に戻ってほしい。／サウナに入れば入るほど環境に貢献しているというのは気分がいいです。

取組内容詳細：観光モデルプランの企画策定

2. 日帰りプチテストツアー

12月2日(月)実施

実施内容

- 09:00** 黒瀬ダム集合
- 09:30** 森林現場到着
- 10:00** 伐採見学 | 森林管理の現場を学ぶ
薪割り | 伐採木を巻きサイズに割り、搬出
スギの葉拾い | 蒸留用のスギの葉を4kg採取
- 11:30** 作業終了・下山・移動・昼休憩
- 13:00** 蒸留体験@KIKUKO(コワーキングスペース)
4kgのスギの葉から2ml×5人分採取目標
- 15:30** サウナ体験@KIKUKO
- 17:30** 現地解散

プチテストツアーの目的

1. プラン化に向けた運営ノウハウの蓄積、
改善点の把握とチームメンバーの理解度向上
2. プログラムの実施可能性検証
 - 各工程の所要時間の妥当性
 - 蒸留設備の搬送・設営の課題
 - 待ち時間の過ごし方(サウナ準備・薪割り等)
 - 参加者の体力負荷と安全性
3. テストマーケティング(SNSでフォロー)



取組内容詳細：観光モデルプランの企画策定

3. テストツアー

12月4日(水)・5日(木)実施

実施内容

1日目

09:30 ①丹原エリア 稲木撤収&しめ縄作り体験 | CREW TAMBARA

ツアーオリエンテーション
地域活動団体からのオリエンテーション
稲木の撤収と藁でしめ縄作り体験
藁で炊く羽釜ごはん&おにぎり作り

12:45 移動

13:30 ②石鎚保全現場 森林保全見学 | 西条自然学校

天狗王集合、現場移動
保全団体からの石鎚保全現場レクチャー
伐採見学
水源保全現場の視察

16:00 移動

16:30 ③大保木エリア | ふれあいの里

間伐材を利用した竹炭作り見学
「森を美味しくいただくBBQ」トライアル
薪割り体験
五右衛門風呂入浴
古民家宿「ハレ」宿泊

2日目

10:00 ④西条市街地エリア 水めぐり体験 | 地元ガイド(観光物産協会)

水めぐり案内(徒歩)
名水スポット巡り
湧水地の歴史・文化・水質の解説

12:00 移動

12:30 ⑤氷見エリア うちぬき体験プログラム | KIKUKO

昼食(お弁当)
水飲み比べ
お茶と茶菓子を楽しむ

15:00 移動

15:30 ⑥西条市街地エリア クラフトビール体験

/グランドタップブルワリー

クラフトビール工場見学
クラフトビール飲み比べ(定番ビールのお土産付き)

[開発中] 参加者が汲んだうちぬきでオリジナルビール製造体験

17:00 ツアー終了

テストツアー参加者

- ・インバウンド視点の事業者 (アジア圏出身者含む)
- ・観光プランチーム
- ・事務局
- ・地域事業者

インバウンド視点の参加者コメント

- ・ビーガン対応のメニューは想定されていますか？同グループに別々の提供も考えてはおきたい。
- ・日本はどう炭と付き合ってきたのか。他国との違いがあるならそこはインバウンドに、伝えたい
- ・インバウンドとかだと、作業着や長靴は一式貸してあげた方がいいかも？自転車とかだと、荷物もあまり持てないし。
- ・インバウンドは卵かけご飯に抵抗ある人もいる。火を通した卵おかずも用意できるように。

取組内容詳細：観光モデルプランの企画策定

3. テストツアー

12月4日(水)・5日(木)実施

里:丹原エリア 稲木撒収&しめ縄作り体験



山:石鎚エリア 保全現場レクチャー



山:大保木エリア 間伐竹の竹炭づくり見学



街:西条エリア 水めぐり案内



街:氷見エリア 水飲み比べ



街:西条エリア クラフトビール工場見学



取組内容詳細：水資源に対する意識醸成とブランド強化

□ ブランディングデザイン

- ・ WLPのミッションとビジョンを策定
- ・ WLPロゴを制作、チームDOBADOBAのロゴを制作
- ・ WLPの名刺制作
- ・ 還元概念図を制作
- ・ 西条の水の豊かさを伝えるため、サイト、SNS、印刷物で使用する画像と動画を撮影
- ・ プロジェクトのイメージを伝えるキービジュアルを制作
- ・ プロジェクト認知のためのリーフレットを制作
- ・ プロジェクトの骨子となる企画書は常にアップデートしてチーム内で共有

□ SNSの開設・運営、地域住民・事業者のインタビューコンテンツ作成

- ・ WLPのInstagram発信戦略を策定、運営

□ ブランドサイトの設計・開発

- ・ 西条の水の豊かさを伝えるためサイト、イメージ動画を制作
- ・ プロジェクトと観光プランをはじめとした、そこで生まれた商品を紹介するブランドサイトを制作予定

□ 一般向けイベントの開催(交流会含む)

- ・ 交流会のチラシ制作 4種
- ・ 交流会などイベント時に使用するビジョンパネルを制作
- ・ 心地よくうちぬきサウナを体験してもらうためのブランドマテリアル目隠し幕を制作
- ・ カンファレンス用のPRビジュアル制作

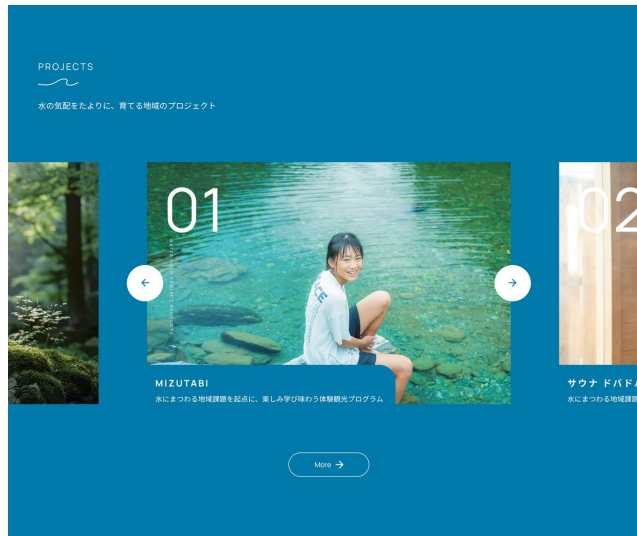
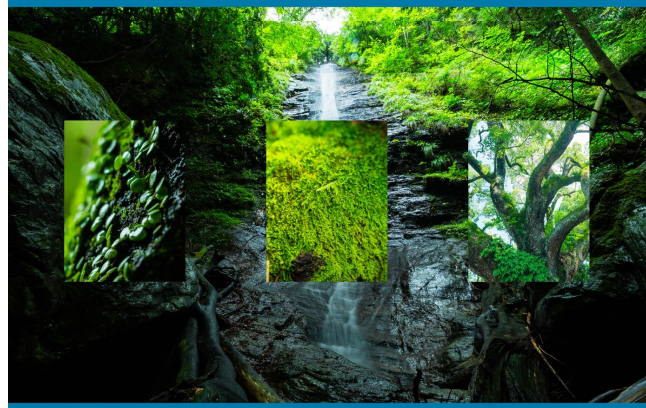
課題

- プロジェクト初期フェーズでは抽象度高い情報が多くなり浸透が難しい
- 計画フェーズで想定していた内容と実行フェーズで見えてくる内容の整合が難しい

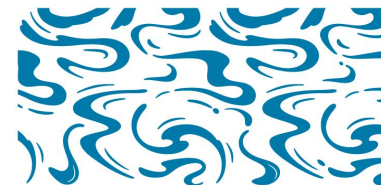
取組内容詳細：水資源に対する意識醸成とブランド強化

1.ブランディングデザイン

ウェブサイト

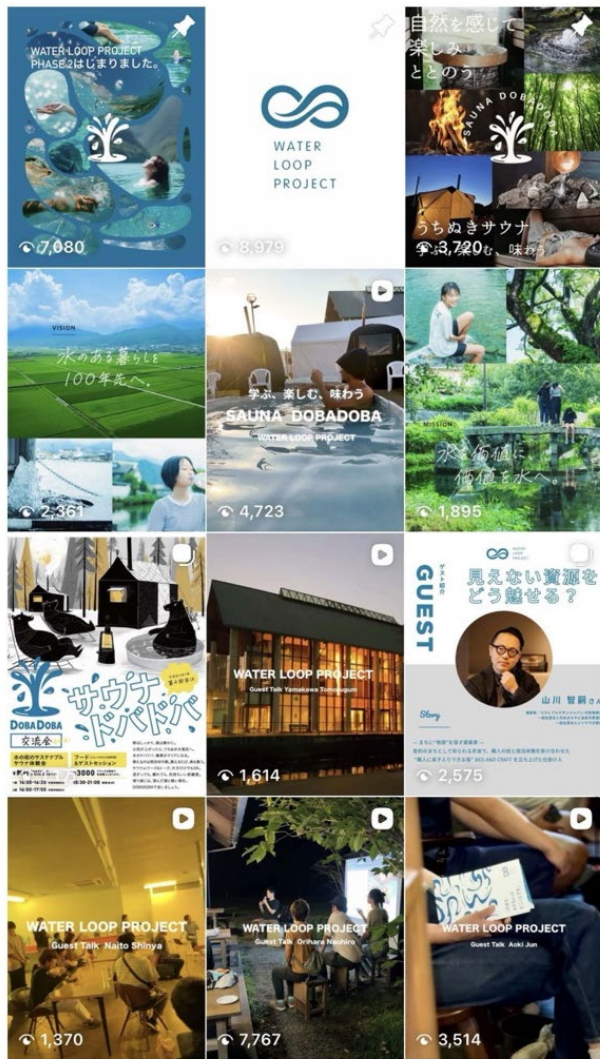


パンフレット



取組内容詳細：水資源に対する意識醸成とブランド強化

2.SNS発信



Insta発信戦略

コンセプト

Instaのコンテンツを通して関係人口創出につながるアクションの動線をつくる

対象	発信の方向性	役割・コンバージョン	最終アクション
購入者	<ul style="list-style-type: none"> 商品のストーリー・価値・機能がわかる 体験者の声を聞くことができる 	<p>商品購入への動線づくり</p> <p>計測</p> <ul style="list-style-type: none"> プロフィールリンクのクリック数 商品ストーリープロフィール→POTOFUのリンク数 	商品・サービスの購入
地域事業者	<ul style="list-style-type: none"> 水の商品つくってます(活動報告) 関わる事業者さん募集 	<p>水の商品の開発協業のための動線づくり</p> <p>計測</p> <ul style="list-style-type: none"> プロフィールリンクのクリック数 商品ストーリープロフィール→POTOFUのリンク数(フォーム) DMでの問い合わせ数 	地域事業者→協業 金融機関→出資
地元民	<ul style="list-style-type: none"> 林業と農業のライトな関わり方あります 西条の水の学び 	<p>林業と農業のライトな関わり方の動線づくり</p> <p>計測</p> <ul style="list-style-type: none"> プロフィールリンクのクリック数 商品ストーリープロフィール→POTOFUのリンク数(フォーム) <p>地域住民の水の意識醸成</p> <p>計測</p> <ul style="list-style-type: none"> ストーリーのポストへのクリック数(水の知識系のポスト) ストーリーのアンケート機能の数 	林業・農業にライトに関わる

Instagram イベント告知効果測定

本事業を通して実現する「保全と活用の好循環」の仕組み

保全の具体的内容・方法

「使うこと」が持続的な水資源の保全につながるという観点を大切に、以下に取り組みます。

- 地下水利用者による間伐材の利活用の促進により水源林が適切に整備され、森林の涵養力で地下水位を長期的に維持する
- 水場調査を通じ、水場があることの地域資源価値を発信する。現代の地域生活や産業に合う新たな水場の使い方、使い手を創出することで、当事者を増やし維持を含めた保全につなげていく
- 耕作放棄地を活用した事業を展開し、持続的な水源管理体制を地域主体で構築する

活用の具体的内容・方法

インバウンド誘客を見据え、「うちぬき」を中心とした水資源を活用した下記コンテンツ・プログラムを創出します。

- 水源森の間伐材と「うちぬき」を活用した体験コンテンツ
[目的]課題理解、間伐の収益増加、関係人口増加
- 企業・学校向けの水と森の循環を学ぶ研修プログラム
[目的]循環事業収益化、関係人口増加、観光コンテンツ化
- 「うちぬき」の湧き出る水場の新しい活用コンテンツ(クラブトビールや収穫した野菜を冷やす、観光マップ作成など)
[目的]住民意識醸成、保全当事者増加、地域資源活用事業創出
- 水資源を活用した果樹・加工食品の生産者・製造者を巡る中長期滞在体験プログラム
[目的]課題理解、関係人口増加、観光コンテンツ化

活用から保全への還元方法

□ 短期的な還元方法

地下水を活用した多様な体験コンテンツを造成する
→ 保全活動への参加者、関心者が増える
→ 保全活動を体験コンテンツ化する

□ 中長期的な還元方法

持続的な地下水源の保全につながる関係人口を創出する
→ WLP事務局と地域事業者が共同事業をつくり、プロジェクトを牽引し継続して活動していく
→ 地下水の魅力や保全に寄与する使い方の提案・発信

【R8年度取組】

循環型観光モデルプランの実証 および販路開拓

観光需要が少ない地域において、インバウンド誘客に向けたステップを設定し、地域や外部の事業者、クリエイター、自治体などと連携を図り、プラン実証と販路開拓を進める。

運営組織の地盤固め

自走可能な組織体制を維持するための仕組みづくりと財源の確保を進める。保全につながる様々なフィールドで事業が生み出され続ける環境整備と機運づくりを行う。

地下水源の保全につながる関係人口を創出する仕掛けの実施1

興味関心を持つ人の入口として、SNSやプロジェクトサイトでの情報発信や事業者間の交流、地域外の呼び込みにより関係人口を増やしていく。

地下水源の保全につながる関係人口を創出する仕掛けの実施2

観光を通して保全現場や水にまつわる体験をし、地域と定期的な関わりを持ち、地域の活動に参加したり応援する、流れを作り出す。

想定する成果

- ツアー企画開発(研修専門旅行会社と協業)PRツール制作
- 企業および教育機関(外国人が含まれる)向けの研修旅行のFAMツアーの実施
- 販路開拓(企業や大学への販売、ツアー会社へ提供)

想定する成果

- WATER LOOP PROJECTの運営体制構築
- WATER LOOP PROJECTの自主事業開発
- 放置林、水場、耕作放棄地を活用する事業者を生み出す仕掛けの検討、実施、検証

想定する成果

- 情報発信する(SNSおよびプロジェクトサイト運営、更新)
- 交流を生み出す(地域内事業者の交流・インプット、地域外から人を呼び込む)

想定する成果

- 多様な関わり代をつくる(地域課題解決に取り組む、商品を購入する、製造販売する)
- 関係が持続するために仕掛ける(楽しむ仕掛け、成果を公表しシビックプライドにつなげる、等)

R8年度のゴール

- プロジェクト企画から旅行会社連携まで、課題対面者と地域事業者での共同事業を開発する
- 「長期的な目線で利益を保全活動へ還元するビジョン」を共有するチームを編成する

想定される課題

- インバウンド顧客獲得、販路開拓
- ステークホルダーが納得する自主事業の検討・構築